

ゲームで楽しむ、フラクタルとカオス

玉城 政和 (三重大学教育学部)

1. フラクタルゲーム

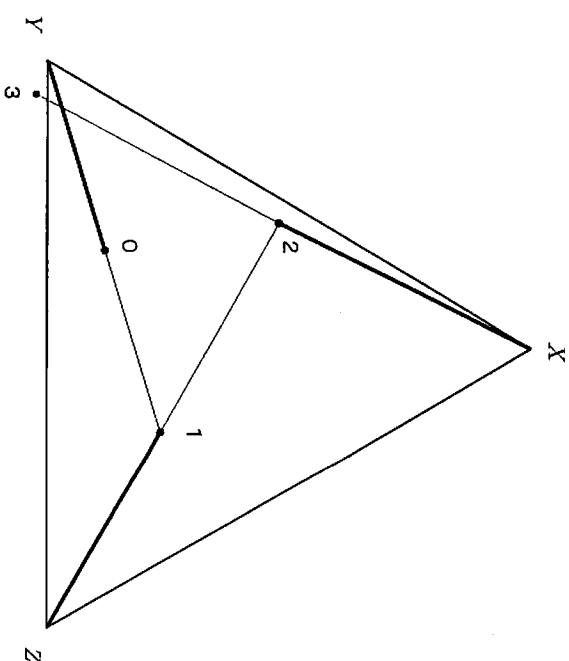
1.1. あそびかた 正三角形XYZの内部に取った点を、次のルールで動かしていきます。

ルール

- ① はじめは正三角形の内部ならどこでも、好きな場所に点を取ることができる。
- ② この点について、一番近い三角形の頂点(以下これを軸とよびます)を決める。もし同じ距離に複数個の頂点があるときは、好きな方を選んでください。
- ③ 軸と点を結ぶ直線上に、距離が2倍となる点を取り、この点に移動する。
- ④ 移った点が三角形の外に出れば、そこでゲームオーバーとする。もし内部なら、移った点に対して②～①を繰り返します。

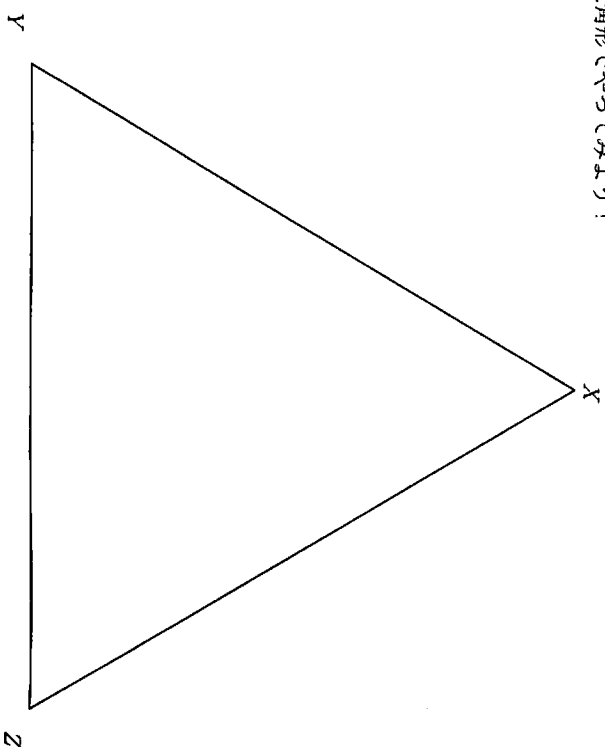
①

例)



次の三角形でやってみよう！

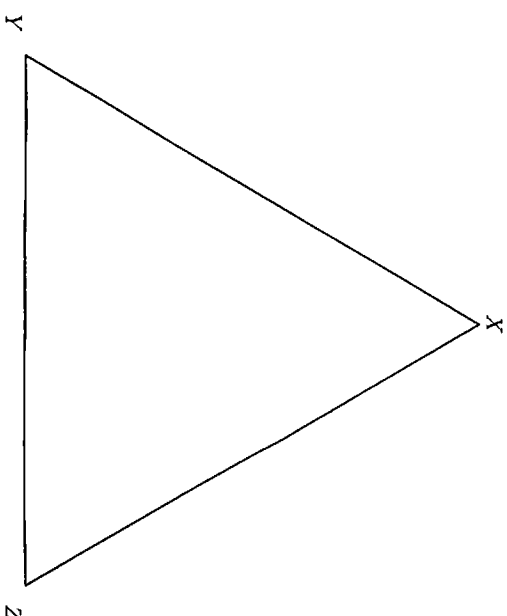
②



1.2 高得点をあげるには

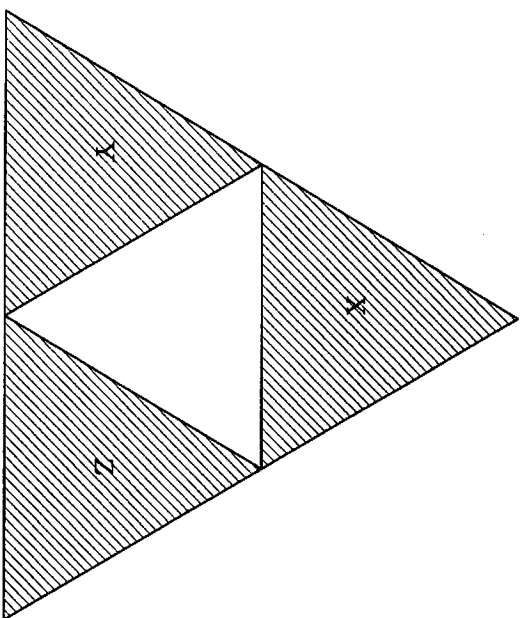
問1) 最初の移動で三角形の外に出ないのは、どの領域に最初の点を取ったときですか？

③



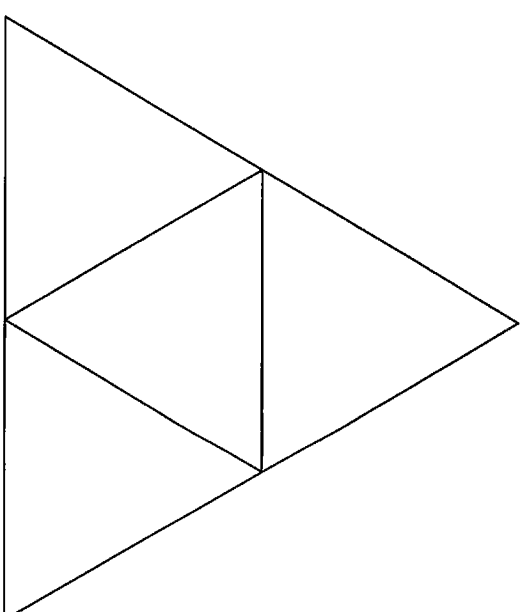
ヒント：まず、頂点Xが軸になる場合に、三角形の外に出ないのはどの部分か考えよう。

答え)

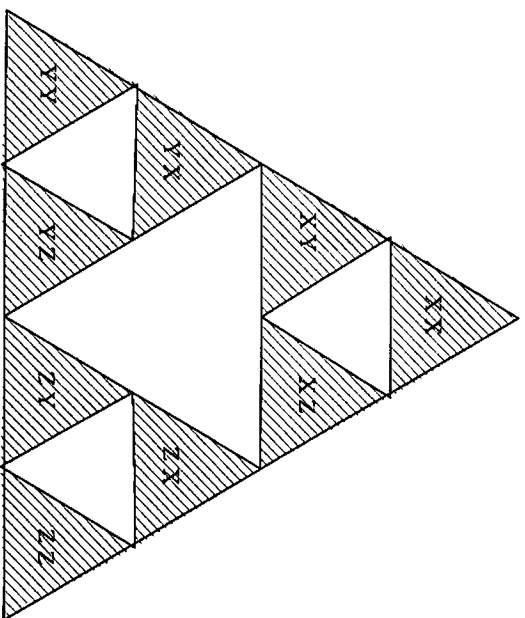


問2) 2回目の移動でも三角形の外に出ないのは、どの図域ですか?

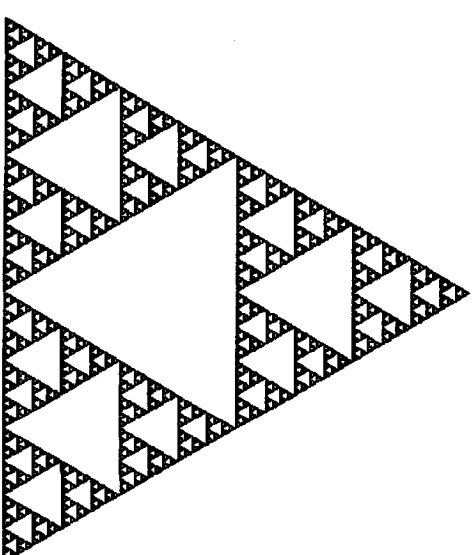
④



答え)



繰り返すと ...

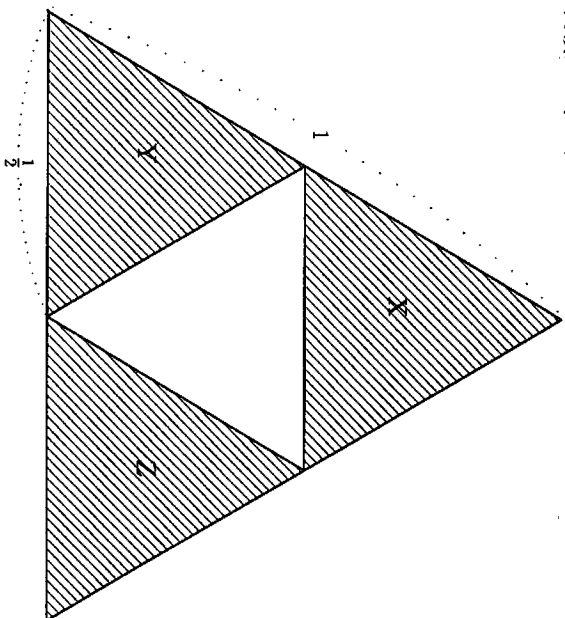


: シェルピンスキーガスケット (SG) のできあがり

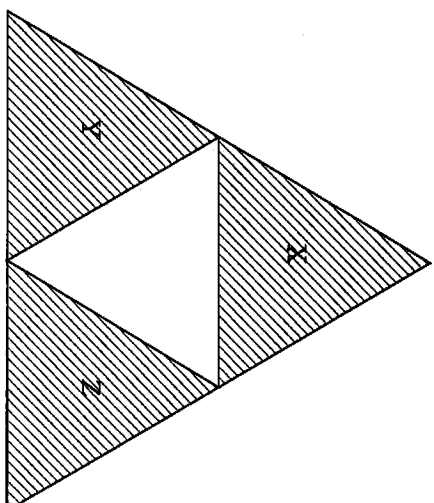
1.3 シェルピンスキーガasketの面積を求めてみよう

⑤

問3) 斜線部の面積はいくつ?



答え)



大きな正三角形の面積は

$$\text{底辺} \times \text{高さ} \div 2$$

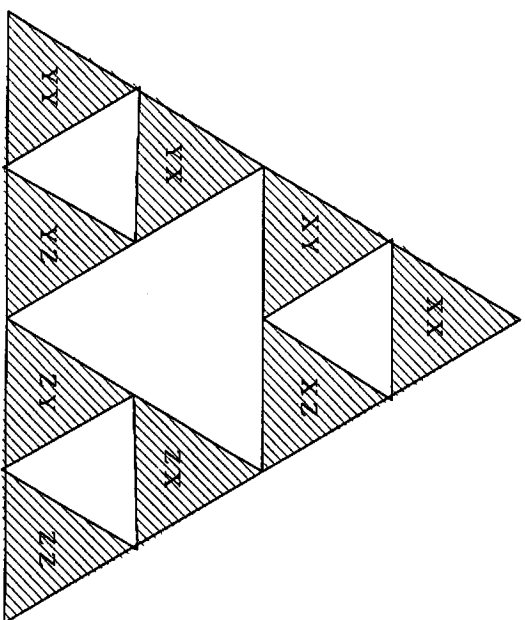
$$= 1 \times \frac{\sqrt{3}}{2} \div 2 = \frac{\sqrt{3}}{4}$$

小さな正三角形の面積はその $\frac{1}{4}$ な

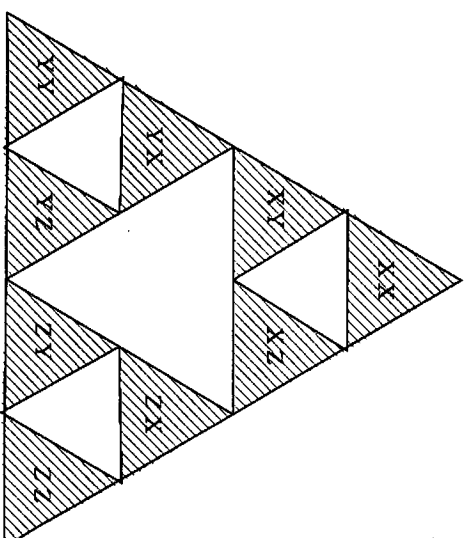
ので、足し合わせると

$$\frac{\sqrt{3}}{4} \times \frac{1}{4} \times 3.$$

問4) それでは、次の斜線部の面積は?



答え)



小さな正三角形の面積は大きな正三角形の面積の $\frac{1}{4}$ なの

で、足し合わせると

$$\frac{\sqrt{3}}{4} \times \frac{1}{4} \times 3^2.$$

n ステップ目に見える小さな正三角形の面積を足し合

わせると

$$\frac{\sqrt{3}}{4} \times \frac{1}{4^n} \times 3^n = \frac{\sqrt{3}}{4} \times \left(\frac{3}{4}\right)^n$$

よって

$$SG \text{ の面積} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\sqrt{3}}{4} \times \left(\frac{3}{4}\right)^n = 0$$

であり、三角形の内部に任意に点を選ぶと、ほとんど確

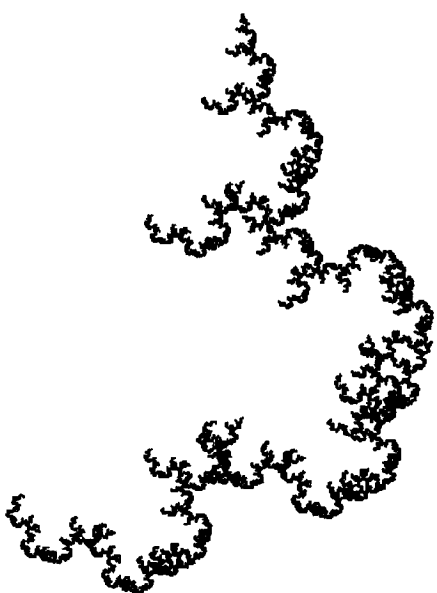
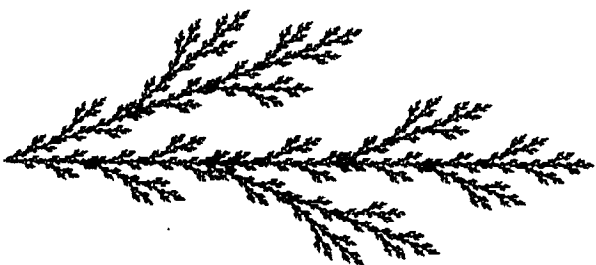
実に SG の外側にある。

従って、いつか確実に正三角形の外側に出て、ゲーム

オーバーとなる。

n	面 積
1	0.324759526419161...
2	0.243569644814373...
3	0.182677233610780...
4	0.137007925208085...
5	0.102755943906064...
10	0.024384467157396...
20	0.001373175049950...
50	0.000000245224470...
75	0.000000000184542...
100	0.000000000000138...

コンピュータで描いた樹：



コンピュータで描いた雲

2. カオスゲーム

⑤

2.1 ルール 平面上に3点 X, Y, Z を固定し、同一平面上に取った点 P を、与えられた数

$a_1, a_2, a_3, a_4, a_5, a_6, \dots$

の小数部分によって、次のルールで、順次、動かしていく。

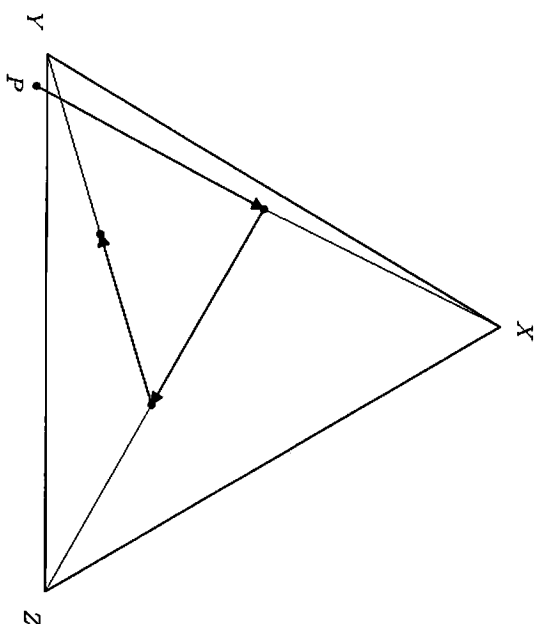
ルール

- ① $a_k = 1, 4, 7$ のときは、 X と P の中点に移動する。
- ② $a_k = 2, 5, 8$ のときは、 Y と P の中点に移動する。
- ③ $a_k = 0, 3, 6, 9$ のときは、 Z と P の中点に移動する。

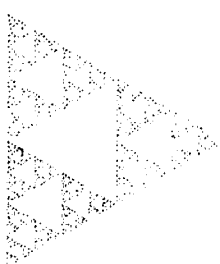
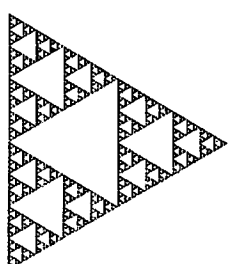
このときの、点 P の軌跡を考える。

[注意] ① $\Rightarrow$ 3 で割って1余る, ② $\Rightarrow$ 3 で割って2余る, ③ $\Rightarrow$ 3 で割り切れる, 場合。

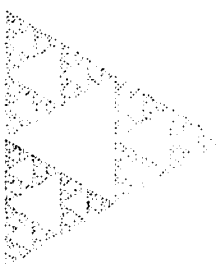
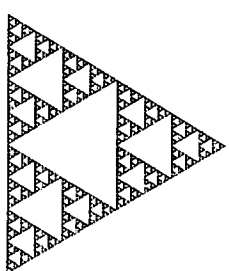
例) $1.735\dots = \textcircled{1}\textcircled{3}\textcircled{2}\dots$ に対しては



問5) 下の4つの図形はそれぞれ、
 $\textcircled{7}$ $0.12012012012\dots$ (10万桁まで) $\textcircled{4}$ $2.10201120102021012\dots$ (10万桁まで)
 $\textcircled{9}$ $\sqrt{2} = 1.414213\dots$ (1万桁まで) $\textcircled{5}$ $\pi = 3.14159265358\dots$ (10万桁まで)
 に基づいて描いたものです。どれが対応しているでしょう。



答え)



$\textcircled{7}$

$\textcircled{4}$

2.2 なぜSGが?

(理由1) 3つの変換 $\textcircled{1}\sim\textcircled{3}$ は、フラクタルゲームの、ちょうど逆の変換をする。

(理由2) π や $\sqrt{2}$ といった無理数では、0から9までの数が不規則に偏らないで現れる。

$\Rightarrow$ カオスの効果をうむ

カオス = ● 混沌 (渾沌). 物事の区別・なりゆきのはっきりしないさま

- 時間とともに秩序から生じる不規則な運動

$\textcircled{8}$

[補足] 一次元について

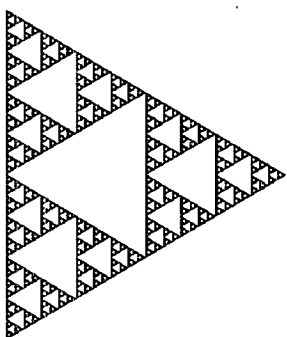
- SG の面積 $= 0 \implies$ 大きさを面積で測る $\times$
- 相似次元で大きさを数量化する.

全体が k 個の, 全体を $r (< 1)$ 倍 (辺の長さ) した部分からできている

$$\implies \dim = \frac{\log k}{-\log r}$$

- SG は, $k = 3, r = \frac{1}{2}$

$$\dim(\text{SG}) = \frac{\log 3}{-\log \frac{1}{2}} = 1.5849625 \dots$$



2.3 いろいろな作品

